

<基本理念>

子どもの幸せを第一に考え、子ども一人ひとりをかけがえのない存在としてその尊厳や権利を守り、家庭的であたたかな環境のもと日々大切に育み家庭等へ繋いでいきます。

すべての子どもの幸福を願い家庭や地域への支援に積極的に取り組み、子どもの最善の利益のために尽くします。

<基本方針>

1. 子ども一人ひとりの尊厳と権利を守ります。
2. 子ども一人ひとりを愛情を持って大切に育み、成長を支え繋いでいきます。
3. 家庭復帰等の可能性を考慮し、その取り組みを進めていきます。
4. 地域社会の一員として、地域の子育て支援に取り組みます。
5. 子ども一人ひとりの幸福のため、職員は自己研鑽に励み専門性の向上を目指します。

平成31年度の重点目標

- ①4年間の施設運営を振り返り、乳児院の理念・養育の基本的な考え方などを職員に改めて周知する。
- ②里親支援体制を先行実施で取り組む（里親支援担当職員の自主配置）
- ③中長期計画の見直し
- ④地域支援の取り組みの実施

主な取り組み

○小規模ユニットケアについて

基本の確認と質の向上のための研修やワークを実施

マイドールの理念や扱い方、養育への取り入れ方を周知し実践する

養育理念の基本をマニュアルに基づき研修し基本ベースを確立する

○養育支援への取り組み

育ちのアルバムの作成と保護者や里親への育ちの共有

養育マニュアルの作成の随時見直し

自立支援計画に基づいた家庭復帰支援と保護者の支援

障がい児に対しての理解と養育の質の向上への研鑽

○健康・安全への取り組み

避難訓練の実施（火災・地震・水害・防犯年2回・消火訓練は月1以上、

もしくは通知してからの訓練、深夜帯想定訓練強化、救命救急研修（職員））

各種マニュアルの精査、見直し

ヒヤリハットの継続した取り組み

○権利擁護への取り組み

施設内虐待の防止・不適切な関わりの防止の取り組み
個人情報マニュアルの確認 虐待マニュアルの見直し

○関係機関との連携等への取り組み

各種会議への積極的な参加
児童相談所 同種別施設間の会議 その他の会議等
県養協との連携や交換研修

○地域との交流の取り組み

コミュニティでの子育て支援活動
相談事業、施設周知活動（パンフレット等）
その他地域活動への参加（BPプログラムの開催）
離乳食講座の開催

○里親支援への取り組み

親関係のイベントへの積極的な参加
里親関係の研修等の協力
里親研修の受け入れ
里親関係の施設内職員研修の実施
里親研修受講者へのアンケート実施
養育里親研修、専門里親研修の施設実習の受け入れ
里親家庭へのアフターフォロー支援の充実
フォスタリング機関への見学、実施
児童相談所との連携体制の構築

○実習生とボランティアの受け入れへの取り組み

実習生受け入れマニュアルの見直し
実習メニューの検討の評価・見直し
ボランティアの受け入れマニュアルの周知
個人継続ボランティアの発掘
ボランティアとの懇談会の開催

○職員の資質向上への取り組み

研修計画の作成
法人内階層別研修への参加
施設内研修計画
施設外研修計画
職種別研修
県養協関係の研修
全乳協関係の研修
関東ブロック乳児院協議会の研修
新潟市・児童相談所主催の研修 等

自己評価の実施

H30 自己評価の課題解決、改善計画

目標管理制度を活用した質の向上

第三者評価の実施(2 クール目)

○苦情、要望への対応への取り組み

法人内福祉サービス苦情解決要綱に基づく苦情対応の実施

利用者からの意向調査への対応

○労働関係法令遵守、適性な職員配置、職員育成への取り組み

職員へのメンタルヘルスへの取り組み 職員面談の実施

法人職員意向調査の実施

人事考課、目標管理の実施

職群選択制の導入による働きやすい職場づくり

正規職員登用の推進

有給休暇の取得推進 リフレッシュ休暇の取得

離職の抑制

○年間行事計画

家庭的な雰囲気の中で季節おりおりの行事を楽しむ。

日々の散歩 子育て支援センターへのおでかけ (行事の参加)

日々のお買い物等

成長の中でのそれぞれの節目の行事を大切に行う。

お食い初め お宮参り 七五三 誕生日等

月	行 事 予 定 予 定	
	施 設 行 事	担 当 者 活 動
4 月	お花見遠足 お花見	担当養育者、小グループでの家庭的活動
5 月	端午の節句	
6 月		
7 月	七夕 プール	個別活動計画による家庭的活動
8 月	お祭り 新潟まつり 海	
9 月	お月見	誕生日
10 月	遠足 ハイキング	お宮参り お食い初め 七五三 等々
11 月	ハロウィン	
12 月	クリスマス	遠足 クッキング等々
1 月	お正月	
2 月	節分	
3 月	ひなまつり	